

INDIE'S= MOVIEレポート

東北学院大学映画部上映会

B-MOVIES 2nd レポート

シネサラダの新人、吉田一正君に、学院大の上映会をレポートして戴きました。

吉田 一正

1991年6月30日、141ビル6Fスタジオホールで行われた東北学院大学映画部上映会「B-MOVIES」を見ました。スタジオホールはスクリーンも大きく、会場も広いので、テレビの若者向け公開番組などをやるには、うってつけの場所だなあと俺は思いました。上映作品は7本、とりあえず感想を書きます。

1. 「答えない質問」(石川 哲監督)
とにかく、あのおねえちゃんが可愛かったなあ。

俺が高校のときに、友人と酒を飲んだ帰り道のことですが、いつもまじめな感じの同級生の女の子がケバイ化粧と服装で街を歩いているのを見ました。

そのとき、彼女が付けていた香水の香りが十数メートル先から漂ってきて、俺の鼻に感じたことがあった。そして懐れぬいさまに言葉を交わした。

「あれー、○○さんじゃない、どうしたの?」
「この「へへっ、ちょっとお酒飲んだの。」
俺は後になって、そのことがやけに堪げないなあと思った。映画を見ていて何故か思い出した。

2. 「ビデオラックの利用法」(岩倉 理裕監督)

パンフレットを流しと出演しているおばさんは岩倉監督の母で書いてあったが、いいオフクロさんもってアンタ幸せ者だよ俺は言いたい。演技じゃない演技をしていると俺は感じた。今度はそのオフクロさんの人生を映画化してくれと俺は思っている

「魂を呼びもどせ!」
あのデブいい味だしてる」と俺はあの動きに魅せられてしまった。(「デブ」なんて、あったこともないのに、こんない方はとても失礼ですよ。御免なさい。)

8ミリ映画の多くは監督の映像表現といったことばかりが重視され、出ている人を俳優モドキぐらいに使っていることが



▲パンフレット

チラシのひとつ



PRESENTED by
SINE SARAD

多くて、その出演者の個性を生かしきれないまま終わってしまう映画が俺が見た限りでは多かったけれども、この映画は、人間を撮るといふ面はよかったとおもった。

4. 「ある男の存在証明」の予告編 (佐藤 安彦監督)
佐藤監督のブリーフ姿はなかなかセクシーで、ホモに好かれる体なのではないかと俺は思ってしまった (俺はホモじゃないよ)

5. 「斜陽(K-2)」(富谷 圭輔監督)
カメラ担当の小田中さんという人はうちのシネサラダの先輩の話では女を撮るのがうまい人だという話を聞きました。

だから俺は女を撮る秘訣を一度この人から聞いてみたい気がした。「理由は要らない、その女を口説くように目で追うそうすれば自然にその女の良さが見えて来る。」何て気取った事を彼は言うのだろうか。

6. 「悪いことだと知りながら」(東 誠記監督)
内容はとてもくだらないんだけど、最後までそのナンセンスさを読み通したのは好感が持たれた。

7. 「眠りの空間」(石川 哲監督)
六十年代後半のアンブラ演劇に近いと思った。

8. 「黒獅子」(鈴木 堅一郎監督)
昔の日テレ系火曜夜9時あたりに放送していた。探偵や、はみだし刑事を題材にしたドラマにノリが近いなあと思った。でもやっぱりデカ長の役は石立鉄男だよなあ。

さあっとこんな感じです。12月8日にまた上映会を開くそうなので、是非みんな見に行ってください。

かなりの人数のお客さんが来ていたようです。(よかったね、岩倉。)

さて、シネサラダプロジェクトのもう一つの作品『ジャッカー電撃隊』についてお知らせするのが、このコーナーです。

現在の進行状況は、シナリオと設定資料(笑)が関係者に配布され、プロテクターやミニチュアなどの造形作業に入っています。

前回のレポートでもお伝えしたとおり、原作はあの石森章太郎先生のアレですが、設定、デザイン共にオリジナルなものに(といっても全部バクリですが)変更しています。どうなることやら。

ストーリーは、悪の軍団の総帥・ALICEと呼ばれる少女(の姿をしたもの)は、グリフォンやトータスと呼ばれる謎の怪物、チェシャと呼ばれるエージェントなどを操り、侵略を開始します。

迎え撃つのは、Taskforce for Rescue and Megaropolice Protection・通称TRUMP(トランプ)と呼ばれるサイボーグ戦士たち! と書けばかっこよく聞こえるかも知れませんが、せいでい願望らせて載せます。現在、弾着の好きなかわいい女の子募集中です(そんなもんいるか...)

□後はひたすら頑張るだけです。では、また。



A.L.I.C.E

新作情報パート2は、はみ出し映画情報!

1. PFF受賞のクマガイコウキさんの新作がいよいよそのペールを脱いだ! その名は「大感傷仮面」16ミリ作品で、プロデューサーは漫画家のいがらしみきおさん、出演に十月劇場の米沢牛さん。

なぎら健一さんや、三上寛さんなど、有名人も特別出演! かなり大きなプロジェクトのようです。詳しくは記者会見を待て!

2. 前回お伝えした奈良純監督の雲鬼電ですが、現在、制作進行が、著しく遅れています。監督のコメントによれば、「私の言魂様が行方不明になっています」との事。

舞台の仕事で多忙な毎日の中での映画制作は大変かもしれませんが、なんとかがんばって作りあげてほしいと切に願います。

3. その他の新作情報... 鈴虫映画舎の人形アニメーション、「サイバーゾーン・クライシス」は、ちやくちやくと造型作業が進行中、クランクインも近いもようです。

ほかにも、「仮面ライダースペシャル」の志子田仁人監督が新作を企画中、こちらもやはり準備が静かに進行しているもよう。気合入ってます。



☆ジャッカー電撃隊に登場する小型戦車「モビルクロバール」モデル完成! なんともカワイイで走行するガンボール風!(笑)

PFFアワード'91作品エントリー受付中!! (9/10(火)締切)

「映画の新しい才能」を発見するための映像のコンペティション、PFFアワード。今年はエントリー・ゲートを拡大してビデオでの応募もOKとなりました。より多くの映画との出会いを求めて、よりアクセスしやすくなった今年のアワード。すでに作品が完成している人は早めに入エントリーを!! 応募には必ずエントリー・フォームが必要で、よし、エントリーを/と人は、今すぐエントリー・フォームを請求して下さい。まだ作品が完成していない人もまずはエントリー・フォームの請求を。作品の受付はすでに始まっています!!

エントリー・フォームの請求方法 応募用紙の請求は52円切手(郵送料)同封の上、下記住所までお送り下さい。
[宛先] 〒102東京都千代田区麹町2-5 ぴあ株 文化事業部 PFF事務局 エントリー・フォーム係

FILM FESTIVAL 91

フィルム フェスティバル

自主製作映画の華麗なる祭典! 10周年記念!

時 / 1991年11月23(土)・24(日)
所 / 青年文化センター (地下鉄・旭ヶ丘駅隣)